

総合計画策定に関する議会説明会 議事録

日時 平成 22 年 8 月 31 日

場所 議員協議会室

出席者

議員 17 名（欠席 1 名）

事務局：経営戦略室 玉置理事、伊藤室長補佐

事務局

第 5 次加西市総合計画（骨子案）説明

議長

質問に対する質問を

議員

P14、15 に将来人口の転入等の説明、別紙に産業団地の雇用状況の資料で、加西工業団地では地元の雇用が 30%程度で、加西市以外から勤める方が多いということだが、加西市以外からこられる方々が、加西市で住めるような状況、具体的な要求等も調べて、計画の中に落としていくというのは考えられているのか、お尋ねしたい。

事務局

加西の企業に勤めながら、市外から通われて方がたくさんいらっしゃいます。そういった方の聞き取り調査は住宅マスタープランのインタビューで聞いています。回答の中で、何が今加西市に足りないのかという部分を分析し、それを計画の中に盛り込んで行きたいと考えています。

議員

市民に、「もし、私が市長だったら・・・」というアンケート結果を見たのですが、そのアンケートはどれくらいの人数からとったのか。

事務局

アンケートは加西市在住の方にとっています。人数は 2,500 枚配布、回答は 1,101 人から回答いただいています。

議員

それは無記名での回答ですか。

事務局

無記名です。その集計は、前回お配りした資料と、ホームページにも掲載してあります。

議員

第4次の検証で、総花的であったということですが、その中で選択を集中していくのだということですが、どのあたりと読み取ったらよいのでしょうか

事務局

構想のレベルではわかりにくいところがありますが、P12, 13 の施策の項目です。37 の項目の中、雇用、教育、環境についてはもうすこし突っ込んでピックアップしていきたいと思っています。

議員

多治見市に代表されるような、計画財政的な要素がこの総合計画に盛り込まれる予定はあるのでしょうか。

事務局

多治見市の総合計画を参考にしながら作って行きたいと考えています。

議員

となれば、総合計画が最上計画ですから、これが基本になって、この範疇から逸脱するような計画自体が行政から提案できないということでしょうか。

事務局

大部分はそうですが、整備しなければならないのは計画年次と市長の在任期間の整合性をとること、それから市長のマニフェストをどう反映するのかということについては、総合計画の中でうたう部分ではなく、別の形でルール付けする部分であると考えています。

議員

そうですね。それは中期で見直しをせざるをえないと思います。がんばってください。

議員

第4次の場合、市長が交代されたことで政策転換がなされ、進捗率が下がったという可能性もあると思います。第5次についても、途中で見直すとか、市長のマニフェストが変わって総合計画と違った方向に行くことはありうることで、その担保をとることが最高の総合計画であると思う。この総計に沿って市政は推進されていくのだということを、明確に打ち出す方法は考えておられますか。

事務局

ご指摘のとおりです。この総合計画が上程し、承認を得た後、総合計画以外のことを入れることになれば、計画の変更になりますので、改めておはかりする形をとるべきと今は考えています。

議員

本来はトップが替わったからといって、変えるべき物ではないのに替わってしまうという現状があるので、それを第 5 次の計画の中に、変更の可能性もありうるとか、その場合に見直しするという項目を入れられるのですが？

事務局

総合計画の中でそのようなルールを盛り込むことは考えておりません。ただ、今までは市の職員一人ひとりが、これはどういう目的でやろうとしているのか、将来、市がどの方向に向かっていこうとしているのかが意識できない計画になっていました。今回、最初に計画の中に盛り込むことで、何をやるのかを明確にさせます。ですから、そこにあげてあること、あげていないことが事前にわかるものを作っておきたい。そしてその計画に盛り込まれたものをやるというシステムを作っていきたいと思います。

議員

骨子案が作られた時点での一般質問ということで、質問の対象になるのでしょうか。

議長

まだ無理でしょう。

事務局

最終的に市長の決済がいるのですが、そこまでいっていませんのでこの項目も増える可能性もあります。今は原案というところです。

議員

一般質問ですから、途中の段階で意見を述べて議論する場を制限する必要はないと思います。

議長

総合計画素案としての意見ではなく、全般的な加西市市政のあり方の議論はありうる話です。

議員

この資料を確定事項として、これをベースにして質問することは如何なものかと思いますが、総合計画の作業が進捗しているわけですから、例えば土地利用について現状どうなっているのかということを一問一答ですることに関しては、なんらはばかりではない。確定的なものではないですから、今後課題にされればいいことと思います。

議員

これは議決事項なので、案として出てきた場合にはそれを質疑として受けるべきですが、一般質問として、どういう方向性というようなことをこれが元になっているのであれば、今の段階ではだめとかという内容ではないと思います。執行者側は答えるべきであって、方向性は出てきているのですから、資料として用いてもらったら困るということではなく、委員としてどういう方向性でどういうことを織り込むのか、どういう風な指針を出しているのかということ等、一般質問は市政に対して何を聞いてもいいわけですから、今の段階で一般質問は無理というような型のはまるものではないと思いますが。

議員

スタートするときには、途中の結果報告をしてもらうということになっていた。市民公募で何人か議員が入ったが、何をしに行っているのかと言われた。一般質問をするにはこの総合計画は素案の素案で、採決する議員は、まだこれに意見を言うことはできない。スタートはどうであったのか、今回今までの作り方と違っているということも考えて判断していなければならないと思います。

議員

議員が市民提案者として市民会議に出たというのは、議員は執行者からの説明も受けられますし、委員会でも本会議でも議員として質問ができるので、一般の市民の中に入るよりも、自分たちの与えられた場所でしたらどうですかという話であったと思います。

ですから、今の段階で、執行者側としてもいきなり議案として出したときに、もめるのではなくて、段階的にどういう方向性が、今どういう進捗が聞かれるのは、一般質問であれば可能だと思うのですが。皆さんで、その方向を決めていただけたらと思います。

議長

この説明会をうけて後どうするかというのは、後相談することですね。

議員

P5 に地域主権の時代と入っています。地域主権は議会基本条例で、省きました。地域主権という言葉はなにか。街づくりが大事だという段階ならいいけど、そこに主権という言葉がついてしまったら、大変な意味にもとれる。どの範囲のレベルで考えておられるのか。

事務局

地域という言葉は非常に便利な言葉で、いろんな文脈で地域が語られます。国が言う地域主権は、国と比較した地方という意味にもつながり、地域はある一定のエリアの人たちということではなく、加西市全体、ときには自治会、校区などの使い分けをしていきたい。

地域の中では、住民の皆様だけではなく、行政も地域の中に含まれるのではないかと個人的には考えます。

議員

地域主権は、地域によって格差があるし、特色があるから主権がすべてではなくなる。憲法で出てくる主権と意味が違うと思う。どういう意味で使っているのか明確にしてもらわないと、混乱がおきたら困るのではっきりしていただきたい。

事務局

これは平成 22 年 6 月に地域主権改革大綱というのが閣議決定されています。今後、地域住民による手作りの地域を作っていくとった地域主権の時代が、国の流れなので、今後 10 年は地域主権の時代であるということになっている。やはり総合計画の中にも、地域主権の時代という言葉を入れておく必要があると思う。

議員

そういうことであつたら、地域でも 10 年くらいの総合計画を。市の総合計画が出てから地域の総合計画が 10 年くらいでできることではないと、つながってこない。つながりがあつてはじめて実行できると思う。そこまで掘り込まないとだめだろうと思う。北条地区と南部と北部でも各地域で違う。それをどういうブロックに分けてどこまで、次のところがこの総計に向かって、われわれがこう特色を出して、こうやっていく。市はこういっているが地域住民はどうしていくのか。中身を突き詰めればこういうことだと思うのですがどうですか。5 年たってそういう方向に行けばいいのかなあと思っているくらいですが。

地域がそこまで元気が出てくれば、自分たちで総合計画をたてる、それがあつてはじめてその後に地域の憲法ができる。そういうものだと思っているのですが、そこまで踏み込んでいただけるのかどうか。できれば踏み込んでいただいて、地域で総合計画をつくっていかなければ、加西市全体で一つの総合計画の中で、その下でがんばってくというのはできないと思う。加西市だけでやってもすでに地域の格差ができている。人口が減ったら必ず格差はできる。

以上、終了